

(様式 1-3)

福島県楡葉町再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成26年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	5	事業名	放射線検出器校正事業		事業番号	(3)-11-2
交付団体		楡葉町	事業実施主体 (直接/間接)		楡葉町 (直接)	
総交付対象事業費		46,673 (千円)	全体事業費		46,673 (千円)	
再生加速化に関する目標						
個人線量計による空間線量やガラスバッチを用いた外部被ばく線量、WBCによる内部被ばく線量を住民自らの目で確かめるとともに、ゲルマニウム半導体検出器による飲食物等の放射性物質検査を併せて実施することで、町で生活することへの安心・安全に寄与し、今後の町民の帰町意欲を高め、町の復興を加速させることを目標とする。						
事業概要						
楡葉町では、住民が空間線量を測定できる個人線量計、外部被ばく線量を測定する積算線量計 (ガラスバッチ式) の貸出しをするとともに、食品等の放射性物質の分析をするゲルマニウム半導体検出器、内部被ばく検査のホールボディカウンターを設置しており、これらの機器の精度を維持するため年1回の点検・校正 (個人線量計、積算線量計は住民からの回収、送付作業含む) を実施する。						
個人線量計 回収、点検・校正、送付 積算線量計 (ガラスバッチ式) 回収、点検・校正、結果報告書作成、送付 ゲルマニウム半導体検出器 点検・校正 ホールボディカウンター 点検・校正 諸経費 (運搬料等) ※楡葉町復興計画 (第二次) 食品等の放射線測定体制の構築 詳細・綿密な放射線影響への対応						
当面の事業概要						
<平成26年度> 個人線量計、積算線量計 (ガラスバッチ式) の回収、点検・校正、送付、ゲルマニウム半導体検出器、ホールボディカウンター機器校正 27年度以降も年1回の校正を実施予定。						
地域の再生加速化との関係						
個人線量計や積算線量計の貸出し、飲食物等に含まれる放射性物質や内部被ばくの検査実施体制を整備し、住民の不要な被ばくを未然に防ぎ、住民の健康を守るとともに、空間線量等を住民自らが確認することで、町で生活する上での不安を解消し、今後の帰町意欲を高める。						
関連する事業の概要						
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。						
関連する基幹事業						
事業番号						
事業名						
交付団体						
基幹事業との関連性						